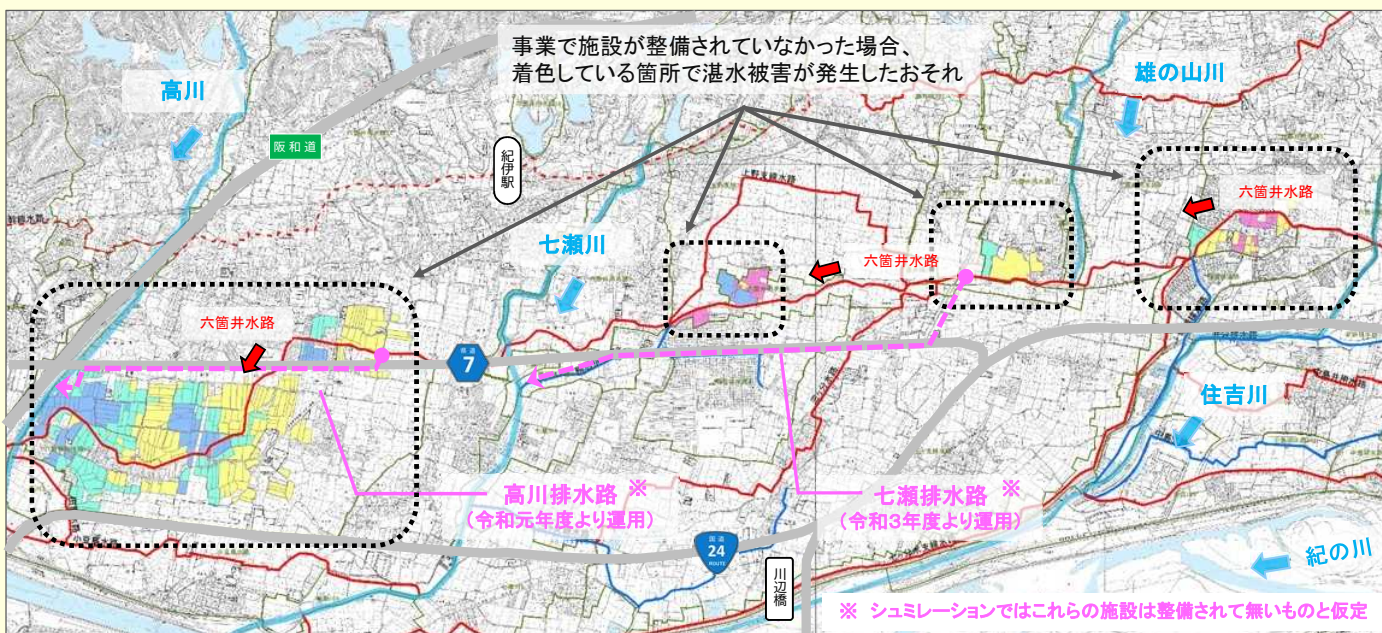


事業の効果

令和3年8月の大雨
での施設の効果を分
析しました



令和3年8月17日 排水施設の運用状況

右は七瀬排水路の
分流工の写真。六
箇井水路に流れ込
んだ雨水を取り込
み、六箇井水路の
水位を下げ湛水被
害を防止。



左は七瀬排水路の
放流工の写真。六
箇井水路から取り
込んだ雨水を七瀬
川に放流。



右は高川排水路の分流工
の写真。六箇井水路に流
れ込んだ雨水を取り込み、
六箇井水路の水位を下げ
湛水被害を防止。



左は高川排水路の放
流工の写真。六箇井
水路から取り込んだ
雨水を高川に放流。



昨年8月12日から22日にかけて、和歌山観測所(和歌山市)では四百ミリを超える降雨量が観測されました。和歌山観測所の8月の月降水量の平年値が約百ミリであり、この11日間での平年の月降水量の約四倍もの降雨量がありました。

和歌山平野農地防災事業では、排水対策のための排水路や排水機場等の整備工事を順次進めています。和歌山市の米田排水機場、七瀬排水路、高川排水路、岩出市の根来排水路、波分山崎排水路、紀の川市の岡田排水路、安楽川井C水路などの施設が運用されています。

事業の効果进行分析するため、岩出市から和歌山市を流下している六箇井水路において、事業で整備した施設の排水効果

をシミュレーションしました。その結果、今回の8月の雨は、事業で整備した施設が無かった場合、岩出市の山崎地区や和歌山市の山口地区、紀伊地区等の広範囲において、宅地や農地の湛水被害が発生する様な大雨であったことが分かりました。

湛水被害が予想された地区では、事業で整備した七瀬排水路や高川排水路等による排水によって、湛水被害が大幅に減少しました。

排水対策の工事はまだ続きますが、工事が完了した施設を順次活用し、豪雨の被害が軽減されるよう今後も努めて参ります。工事期間中は近隣の皆様にはご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

③ 紀の川市:上ノ池(工事中)
森ノ池(完成)

豪雨時にはため池に一時的に雨水をため込み、洪水調整池としても活用できるよう改修工事を実施



② 岩出市：藤崎井水路
(山田排水路)

藤崎井水路に流れ込む雨水を取り込み山田川に排水する、排水専用のバイパス水路を道路下に埋設

① 和歌山市:千旦樋門
千旦放水路

紀の川左岸エリアの雨水をスムーズに紀の川に排水するため紀の川堤防の排水樋門を拡幅するとともに、放水路を整備

